

# 令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報告書



日時	令和元年 10 月 4 日（金） 午後 6 時 30 分～7 時 50 分		
場所	瑞穂コミセン		
参加者数	21 人		
市側出席者	市長	北	猛俊
	副市長	石井	隆
	教育長	近内	栄一
	総務部長	稲葉	武則
	市民生活部長	山下	俊明
	保健福祉部長	若杉	勝博
	経済部長	後藤	正紀
	建設水道部長	小野	豊
	教育部長	亀淵	雅彦
	ぶどう果樹研究所長	川上	勝義
	企画振興課長	西野	成紀

## 【市長 開会のあいさつ】

本日は瑞穂コミュニティーセンターで、瑞穂町、花園町、錦町、新光町、住吉町、東雲町の範囲です。お集まりいただきお礼を申し上げます。地域懇談会は今日で5カ所目、今年のテーマは「これからの富良野市のまちそだて」と「地域の課題」ということです。今年と来年にかけて策定し、令和3年からは新しい総合計画のなかに、市民のみなさんの思い、施策に対する考え方を盛り込みたいと思っています。

地域の課題では、地域懇談会で各地域の会館に来ると、それぞれの地域で活動している様子を見ることができ、地域を知ることができます。しかし、見えない部分の地域の課題も教えてもらいたいと思います。地域コミュニティーをどのようにつくり上げていくか、維持していくかというのは、どこの地域でも大きな課題です。コミュニティーづくりは行政の課題でもありますので、みなさんと思いをひとつにして、次の地域をつくっていくための努力も必要です。

まちづくりも地域づくりも市民のみなさんと一体になって進めなければならない大きな課題です。みなさんからのご意見を寄せていただきますようお願い申し上げます。

## 【懇談会の意見と回答】

### 教育・文化・スポーツ（文化活動）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○絵のサークルをしていて展示するのに会場を借りることがあるが、富良野市は会場がない。文化会館のホワイエは使用料が1日1万円、大会議室も同じく高い。小さな市民サークルで展示会場を借りるのはとても難しい。毎回、図書館2階の展示ロビーを借りているが、吹き抜けになっているので、静かにしなければならないが、見に来てくれる人たちと会話くらいはしたい。山部に生涯学習センターがあるが、常設展示場になっているので借りられない。文化を育てるといっても、展示スペースがないので育たない。市民の小さな集まりが気軽に作品展示ができるような場所がほしい。</p>	<p>○文化会館に展示スペースを作りましたが、思うように使われていません。図書館の2階や文化会館のロビーを使ってもらっています。新庁舎のなかで市民交流広場をつくり、市民のみなさんが展示で使えるようなスペースを考えています。市役所や文化会館に来る人など、見てもらう機会を増やしていきたいと思っています。</p>

## 教育・文化・スポーツ（スポーツ施設）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○金満パークゴルフ場に行くと鹿のフンがあって、芝の状態も良くない。無料なら良いが、他の町から来て有料で利用している人も多い。観光地富良野としては恥ずかしい。管理者に厳しく言ってもらいたい。</p>	<p>○苦情があったことを管理者に伝えます。</p>

## 基盤整備（交通）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○春になって学校や幼稚園に新入生が来るが、学校や施設の周りの横断歩道を塗り直してほしい。4線の交差点は、ずっと横断歩道がどこにあるのかわからない状況。毎日学校に通っていて、先生が横断歩道を渡るように指導しても、どこに横断歩道があるのかわからない。新しい建物をつくるのは良いが、そうした基本的な基盤整備をしてほしい。</p>	<p>○横断歩道の色が落ちて見えないということですが、横断歩道は公安委員会が設置していて、市では毎年横断歩道や道路標識の要望をあげています。これからも要望活動を続けていきます。</p> <p>○毎朝、地域の人たちが子どもたちの見守りで交差点に立っているのを見かけます。今の話の場所も検討を要する場所だと思えます。</p>

## 基盤整備（公共施設）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○東部児童センターの後ろ側にゲートボール場が2面あるが使用していないので荒れている。老人クラブで除草管理をしているが広がって大変。冬は除雪車が入るので地盤が硬くなる鍬や手ではどうにもならない。草取りして</p>	<p>○地域での利活用がなければ、市の財産なので庁内で検討し、活用がなければ売却します。今後、そうした方向性を検討します。</p>

<p>も1週間で生えてくる。除草剤を使えば良いが15リットルを背負って3回、高齢者では大変。地域や公共で有効活用してもらいたい。</p> <p>○東部児童センターの松が大きくなり、自分で3年かけて剪定したが、上の方は危険だということで諦めた。見苦しい木は全部切って、花壇も整備している。大きな木で手の届かないものは市でお願いしたい。</p>	<p>○町内でもいろんな課題があります。町内で話し合っ、どういう方向性が良いのかを決めてもらい、優先順位を付けて進めることにしています。総合計画の中で年次的に進めていきます。危険なものは市に連絡してほしいと思います。</p>
--	--

## 基盤整備（新庁舎）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○今後、工事費はどのように削減していくのか</p>	<p>○基本設計の段階でも考えられる部分は削っていますが、今後、それ以外に建設工事の施工業者から工事費をどれだけ下げることができるとかという技術提案を受けてまいります。それを参考に実施設計を進めながら工事費を縮減できないかを検討していきます。</p> <p>○全体の事業費には、建設工事費のほかに備品購入費や移転費がありますが、この積算はこれからの作業になります。全体の事業費は63億9千万円を上限と考えています。</p>

## 行財政運営（財源確保）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○ふるさと納税はどのような考えか。これまでの経過と実績を教えてください。</p> <p>○富良野の特産品や農産物を宣伝するためにふるさと納税を使うのではなく、逆にもっと富良野市に納税してもらおうような考え方が先で</p>	<p>○ふるさと納税制度が始まってから、市では返礼品競争には乗らず、富良野の良いものを知ってもらうため、返礼品を広げてきました。平成29年では約6千万円の納税額で、昨年は約4千万円と減っています。富良野の農産</p>

<p>はないか。富良野は出遅れていると感じる。 もう少し進めてほしい、</p> <p>○新庁舎にお金がかかるので、少しでもふるさと納税で埋め合わせができるように進めてほしい。</p>	<p>物やワイン、チーズなどを知ってもらいたいということで、平成28年からインターネットで申し込みができるように「ふるさとチョイス」を始め、今年からは「さとふる」を増やしています。</p> <p>○農産物のほかいろんな体験もありますので、業者と考えているところです。できるだけ多くの人に知ってもらい、広めていきたいと思っています。</p>
<p>○企業からのふるさと納税もあるが、市からの働きかけはしているのか。</p> <p>○ふるさと納税で入ってくる金額と出ていく金額を教えてください。</p>	<p>○企業版のふるさと納税は企業側にも恩恵がありますが、市として計画を立てる必要があるため、研究して活用ができるように進めたいと思います。</p> <p>○平成29年のふるさと納税額は約6千万円です。市民が他市町村に納税し、税控除をしているものもありますが、差し引きしても多く入ってきている状況です。</p>
<p>○メイドインフラノの返礼品は増えているのか</p>	<p>○メイドインフラノも含めて、「さとふる」と一緒に商品開発をしていく予定です。</p>

## 市民協働（対話によるまちづくり）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○地域懇談会は、いつも瑞穂コミセンで行っているが錦町の人参加がないので、東部児童センターでもやってほしい。近くで行えば、気軽に来る人も多くなる。</p>	

## 【市長 閉会のあいさつ】

地域が抱えた課題や問題点を指摘いただきましたので、改善に向けて努めていきたいと思えます。市民のみなさんと行政が一体となって行動して活動する。その思いを同時に遂げて満足することが大事です。この後もご協力をお願い申し上げます。

### 産業（雇用）

これから向かっていく社会は少子高齢と人口減少です。人口減少では働き手が不足するという事態が来ています。それらに対応するまちそだてをどうするのか、この後に工夫が必要になってきます。富良野に来てもらい働いてもらうという環境をつくることや、仕事の中身を見直して合理化を図るというのも一つの方法です。そうしたことを考えるために、総動員して満足できるような生活が送れるような社会をつくっていきたいと思っています。